

2015年8月19日 全6頁

Indicators Update

7月貿易統計

底入れから横ばいへ

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2015年7月の貿易統計では、輸出金額は前年比+7.6%と11ヶ月連続の増加となり、市場コンセンサス(同+5.2%)を上回った。前月の同+9.5%からは減速しているように見えるが、その主因は曜日配置の影響や円高に伴う価格効果であり、輸出数量の基調はここ3ヶ月ほど横ばいが続いている。輸入金額は同▲3.2%と7ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲2681億円と、4ヶ月連続の赤字となった。
- 今月の結果は、海外需要の停滞が継続していることを確認する内容であった。ただしモメンタムは最悪期を脱しており、底入れの兆しが出始めている。先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも緩やかな回復基調に復するだろう。
- 米国では原油価格下落やドル高が企業部門の重石となっており、米国向け輸出の主力製品である資本財の不調が当面続く可能性には注意が必要だ。ただし家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、基調として耐久財を中心に輸出の増勢回復が見込まれる。欧州については原油価格下落やECBによる量的緩和の効果などから持ち直しており、基調としての回復・拡大が継続するだろう。アジアに関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げ、人民元買い介入の縮小などによる実体経済の底上げが確認され始めており、一段の需要減少は回避される公算が高い。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2014年		2015年						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出金額	4.9	12.8	17.0	2.5	8.5	8.0	2.4	9.5	7.6
コンセンサス									5.2
DIR予想									2.0
輸入金額	▲1.6	1.9	▲9.1	▲3.6	▲14.4	▲4.1	▲8.6	▲2.9	▲3.2
輸出数量	▲1.7	3.9	11.1	▲2.1	3.2	1.8	▲3.8	0.0	▲0.6
価格	6.7	8.6	5.3	4.7	5.1	6.0	6.4	9.5	8.4
輸入数量	▲6.9	▲1.8	▲6.3	4.5	▲10.3	0.1	▲5.3	▲1.4	▲2.9
価格	5.8	3.8	▲3.0	▲7.7	▲4.6	▲4.2	▲3.5	▲1.6	▲0.2
貿易収支	▲8,988	▲6,656	▲11,738	▲4,285	2,227	▲593	▲2,206	▲705	▲2,681

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

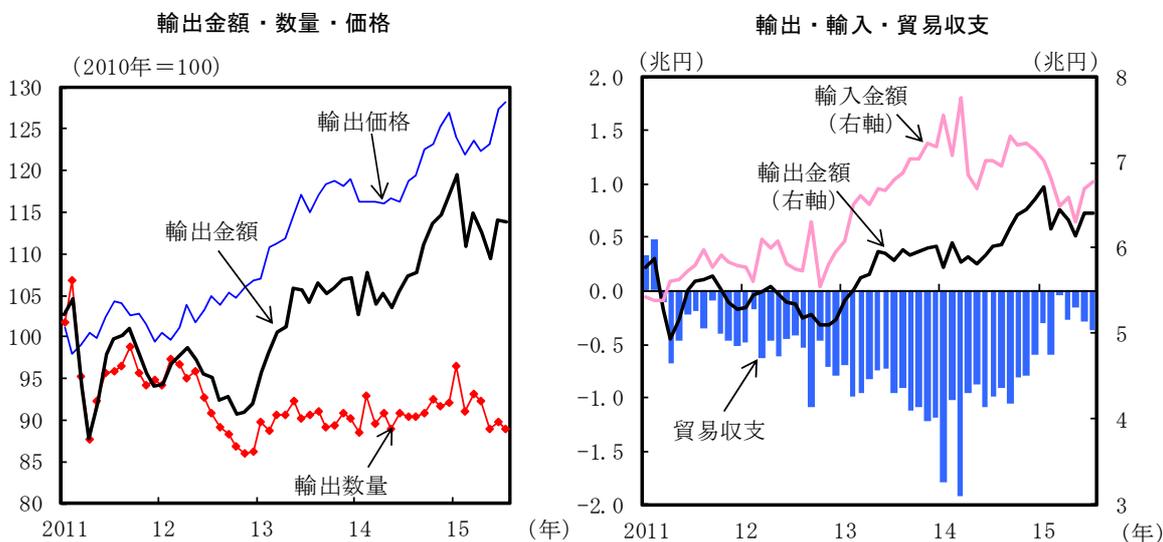
輸出数量は横ばい

2015年7月の貿易統計では、輸出金額は前年比+7.6%と11ヶ月連続の増加となり、市場コンセンサス（同+5.2%）を上回った。前月の同+9.5%からは減速しているように見えるが、その主因は曜日配置の影響や円高に伴う価格効果であり、輸出数量の基調はここ3ヶ月ほど横ばいが続いている。輸入金額は同▲3.2%と7ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲2681億円と、4ヶ月連続の赤字となった。

輸出金額の増加はほぼ価格要因によるものである。輸出価格は前年比+8.4%上昇し、前月（同+9.5%）から減速しているが、これは7月にギリシャ問題の台頭や中国の株価下落を受けた「リスクオフ」ムードの中で円高が進行したことを反映している。輸出数量は横ばいとなった前月からは若干下振れたものの、これは主に曜日配置の影響（6月は前年比で営業日が1日多いが、7月は前年と同じ）によるものとみられ、横ばい基調が続いていると判断される。

輸入金額を価格要因と数量要因に分けて見ると、輸入価格は原油価格の下落を主因として前年比での低下が続いており、前年比▲0.2%となった。輸入数量は同▲2.9%となり、3ヶ月連続の低下であった。前月の同▲1.4%から低下幅が拡大したが、こちらについても曜日配置の影響が大きい。季節調整値でみた輸入金額は前月比+1.1%と2ヶ月連続の増加となっている。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



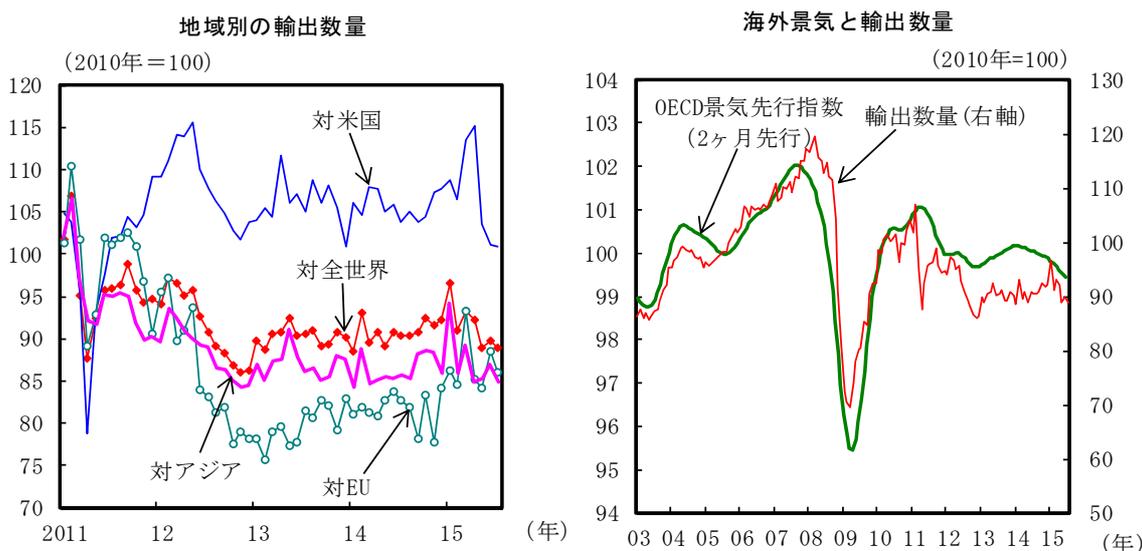
(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

米国向け消費財輸出が健闘するも EU・アジア向け輸出は反落、ヘッドラインは一進一退が続く

季節調整値で見た輸出金額は前月比▲0.2%となった。輸出数量は同▲0.9%となり（季節調整値は大和総研による）、2ヶ月ぶりの減少ながらもほぼ横ばいで推移している。輸出数量を地域別にみると、米国向け（同▲0.2%）に底入れの兆しが見え始めている。とりわけ自動車の需要が強い。他方、EU向け（同▲2.8%）やアジア向け（同▲2.4%）は冴えない。EU向けは前月に船舶など特殊要因があったことなどもあるが、当月も船舶や鉄鋼の大幅増などが輸出を押し上げており、特殊要因を除いてみても弱い結果であった。ただし年初来の輸出増を受け水準そのものは未だに高い。アジア向けは同月に金融市場が動揺した中国の影響も受けているとみられるものの、減少品目は鉱物性燃料などであり、備蓄の入り繰りの問題であれば単月の指標としてはそれほど悲観する必要はないだろう。

今月の結果は、海外需要の停滞が継続していることを確認する内容であった。ただしモメンタムは最悪期を脱しており、底入れの兆しが出始めている。先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも緩やかな回復基調に復するだろう。米国では原油価格下落やドル高が企業部門の重石となっており、米国向け輸出の主力製品である資本財の不調が当面続く可能性には注意が必要だ。ただし家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、基調として耐久財を中心に輸出の増勢回復が見込まれる。欧州については原油価格下落や ECB による量的緩和の効果などから持ち直しており、基調としての回復・拡大が継続するだろう。アジアに関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げ、人民元買い介入の縮小などによる実体経済の底上げが確認され始めており、一段の需要減少は回避される公算が高い。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



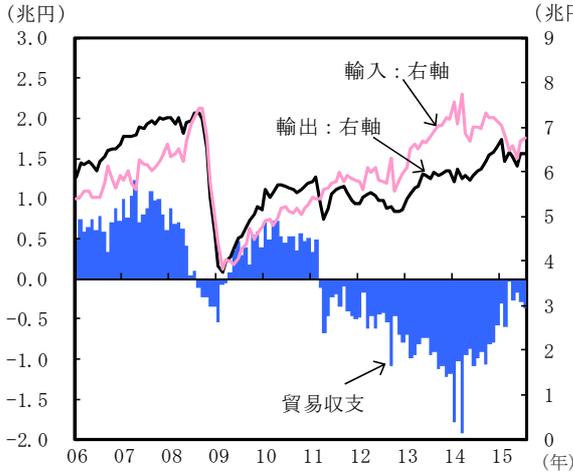
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

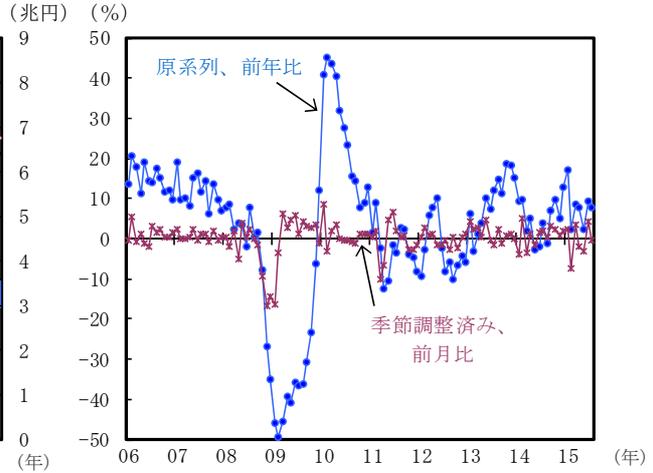
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

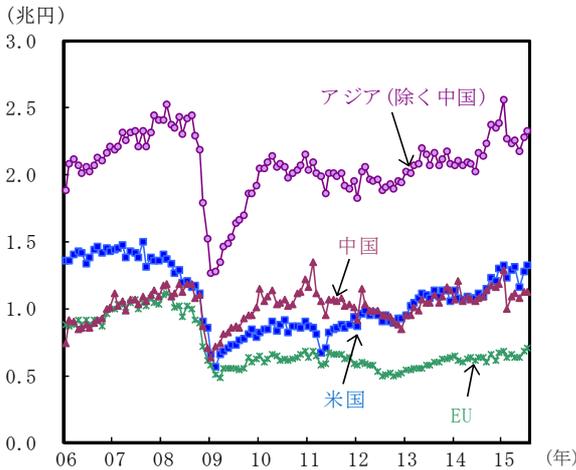


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

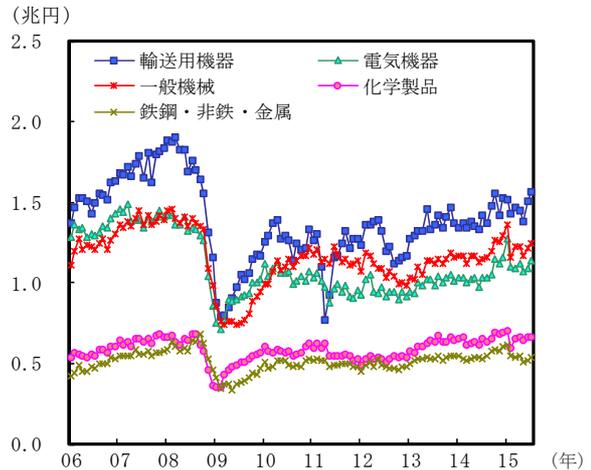


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

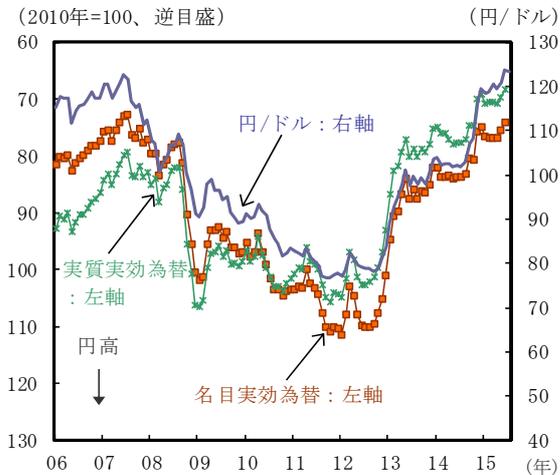


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)



為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2015/02	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.5	8.5	8.0	2.4	9.5	7.6	100.0	7.6
食料品	17.9	27.8	30.1	22.2	22.9	26.1	0.7	0.2
原料品	▲7.5	5.7	2.8	2.4	2.3	▲12.1	1.5	▲0.2
鉱物性燃料	▲16.0	▲37.6	▲16.0	1.3	▲5.6	▲7.8	1.8	▲0.2
化学製品	▲9.5	5.4	5.7	1.9	8.4	2.4	9.9	0.2
原料別製品	3.0	5.2	3.1	▲4.8	▲0.6	2.5	12.2	0.3
鉄鋼	4.2	0.7	5.3	▲6.7	▲8.0	0.0	4.7	0.0
非鉄金属	7.5	10.1	▲3.2	▲6.0	3.8	5.0	2.0	0.1
金属製品	▲2.5	7.3	4.8	2.0	5.3	2.5	1.6	0.0
一般機械	▲0.6	10.3	4.9	0.6	7.2	8.3	19.1	1.6
電気機器	6.0	8.5	9.0	4.4	11.3	10.5	17.6	1.8
半導体等電子部品	10.1	12.4	11.5	11.8	14.9	9.0	5.1	0.5
I C	11.1	12.3	11.2	13.8	16.8	10.4	3.5	0.4
映像記録・再生機器	▲2.9	▲26.1	▲5.6	▲10.9	18.6	27.3	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲4.1	▲2.3	11.8	11.2	11.4	24.9	0.5	0.1
電気回路等の機器	5.6	9.8	7.1	2.5	5.8	5.0	2.5	0.1
輸送用機器	4.1	10.1	5.8	2.2	12.3	10.4	24.9	2.5
自動車	8.8	10.5	7.3	0.2	17.0	9.6	16.4	1.5
自動車の部分品	▲1.8	6.5	2.0	▲1.7	2.4	3.4	4.8	0.2
その他	14.8	17.8	28.3	10.5	20.5	11.5	12.4	1.4
科学光学機器	▲1.8	5.8	▲0.1	▲0.9	▲0.0	▲1.8	3.0	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2015/02	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	14.3	21.3	21.3	7.4	17.6	18.8	100.0	18.8
食料品	28.1	26.0	61.9	16.9	24.7	▲1.4	0.5	▲0.0
原料品	9.0	17.8	5.5	▲2.4	19.6	▲49.3	0.5	▲0.5
鉱物性燃料	0.8	2.6	▲19.7	502.9	18.9	93.4	0.6	0.4
化学製品	3.1	20.5	20.0	3.5	26.0	37.7	5.9	1.9
原料別製品	16.1	18.5	29.0	9.2	9.8	8.1	6.8	0.6
鉄鋼	13.6	1.9	30.9	3.8	▲5.2	▲6.0	1.6	▲0.1
非鉄金属	26.3	64.9	42.3	35.5	16.8	6.9	0.5	0.0
金属製品	13.1	14.4	27.7	6.4	0.1	14.5	1.6	0.2
一般機械	12.4	23.1	14.0	3.5	15.9	8.2	21.0	1.9
電気機器	12.2	19.4	10.5	2.9	13.9	18.5	13.9	2.6
半導体等電子部品	23.2	22.7	22.3	15.1	18.2	17.2	2.0	0.3
I C	5.2	11.4	5.4	▲2.8	5.1	3.6	1.0	0.0
映像記録・再生機器	29.3	▲6.3	30.5	20.5	68.4	69.2	0.9	0.5
音響・映像機器の部分品	41.5	15.0	1.2	14.5	16.5	49.5	0.2	0.1
電気回路等の機器	3.5	20.8	12.1	▲4.7	10.0	12.7	1.5	0.2
輸送用機器	16.8	21.9	12.8	10.4	19.4	25.1	41.4	9.9
自動車	18.7	27.5	15.8	18.1	24.5	33.1	31.3	9.3
自動車の部分品	13.4	14.0	5.8	▲8.1	1.5	3.6	5.9	0.2
その他	18.1	20.8	88.7	11.2	20.6	23.8	9.4	2.2
科学光学機器	0.5	8.2	5.5	11.0	1.4	8.4	1.9	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2015/02	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	1.9	9.1	0.8	0.4	10.8	10.0	100.0	10.0
食料品	31.2	8.8	14.2	35.3	31.2	58.8	0.4	0.1
原料品	▲15.3	▲10.6	0.7	32.3	0.2	1.6	0.9	0.0
鉱物性燃料	20.7	▲41.0	284.7	▲58.3	177.2	▲45.6	0.2	▲0.2
化学製品	6.3	3.0	10.5	3.0	8.6	7.3	8.4	0.6
原料別製品	5.6	10.4	▲3.0	0.5	5.4	22.1	8.1	1.6
鉄鋼	▲0.9	21.7	2.6	▲9.9	20.7	117.1	1.8	1.1
非鉄金属	41.2	42.3	30.4	38.0	53.0	29.7	0.8	0.2
金属製品	5.3	14.2	▲1.5	15.3	4.2	8.0	1.6	0.1
一般機械	0.4	2.5	▲5.1	▲2.2	▲5.8	5.5	24.8	1.4
電気機器	▲2.1	▲3.1	▲0.6	▲3.8	4.3	7.8	18.3	1.5
半導体等電子部品	1.3	▲10.3	▲9.0	▲20.0	▲4.6	▲13.8	2.4	▲0.4
I C	▲5.4	▲20.2	▲18.9	▲32.6	▲16.1	▲17.8	1.4	▲0.3
映像記録・再生機器	▲40.4	▲51.2	▲49.8	▲36.0	22.9	9.0	0.9	0.1
音響・映像機器の部分品	16.9	46.4	68.6	27.7	26.0	16.0	0.6	0.1
電気回路等の機器	▲4.4	▲7.7	▲9.4	▲4.4	▲2.3	7.3	1.8	0.1
輸送用機器	11.1	18.2	10.2	▲2.3	33.8	22.9	25.8	5.3
自動車	20.4	9.2	5.6	▲10.3	17.1	13.6	17.1	2.2
自動車の部分品	5.0	15.4	0.6	5.9	27.0	22.7	5.1	1.0
その他	▲8.0	33.1	▲4.5	11.1	21.3	▲2.7	13.1	▲0.4
科学光学機器	6.0	3.7	▲7.0	▲0.8	12.3	14.4	3.3	0.5

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2015/02	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.0	6.7	6.0	3.3	10.1	6.1	100.0	6.1
食料品	12.2	31.7	27.5	18.8	20.9	31.0	1.0	0.2
原料品	▲9.7	5.2	1.1	0.4	1.6	▲9.0	2.3	▲0.2
鉱物性燃料	▲26.9	▲39.9	▲29.6	▲27.0	0.6	▲15.2	2.1	▲0.4
化学製品	▲11.1	5.9	4.5	3.3	8.3	▲0.4	13.7	▲0.1
原料別製品	2.0	5.2	1.6	▲5.9	▲0.2	1.9	15.3	0.3
鉄鋼	3.5	▲0.5	2.1	▲9.5	▲7.2	▲2.6	6.2	▲0.2
非鉄金属	11.5	20.5	1.9	▲2.5	6.7	10.1	3.2	0.3
金属製品	▲8.5	4.5	▲0.3	▲0.8	6.3	3.8	1.8	0.1
一般機械	▲8.1	4.8	4.0	0.6	10.8	12.7	18.9	2.3
電気機器	5.7	8.6	9.9	7.8	13.1	10.8	22.3	2.3
半導体等電子部品	10.8	14.8	13.1	15.4	16.6	10.8	8.4	0.9
I C	12.7	14.8	13.9	18.9	20.0	13.1	5.8	0.7
映像記録・再生機器	▲1.7	▲24.6	0.6	▲16.1	▲2.2	21.6	0.7	0.1
音響・映像機器の部分品	▲17.0	▲13.5	1.1	10.6	21.0	17.6	0.6	0.1
電気回路等の機器	4.6	9.2	7.1	3.7	5.2	2.5	3.5	0.1
輸送用機器	▲7.1	12.3	1.2	7.5	11.6	▲0.9	9.2	▲0.1
自動車	▲10.8	2.6	▲1.9	▲3.5	10.6	2.2	4.7	0.1
自動車の部分品	▲9.1	▲2.5	▲1.0	0.4	▲2.3	▲0.1	3.7	▲0.0
その他	18.4	14.8	20.5	13.7	20.0	12.5	15.3	1.8
科学光学機器	▲3.9	5.5	2.3	▲0.4	▲0.4	▲4.4	4.0	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2015/02	2015/03	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲17.3	3.9	2.4	1.1	5.9	4.2	100.0	4.2
食料品	33.9	70.8	55.6	31.9	37.8	17.9	0.4	0.1
原料品	▲30.8	10.4	10.3	9.7	14.1	▲15.2	3.0	▲0.6
鉱物性燃料	▲27.2	40.3	▲34.1	▲7.9	▲42.3	41.8	1.0	0.3
化学製品	▲23.4	8.2	7.3	3.4	7.0	▲1.2	14.0	▲0.2
原料別製品	▲14.0	10.7	0.4	▲5.4	3.3	2.4	13.3	0.3
鉄鋼	▲14.9	▲5.3	▲2.8	▲5.0	▲1.4	▲6.3	4.0	▲0.3
非鉄金属	9.7	52.5	4.8	▲9.4	9.9	17.7	3.2	0.5
金属製品	▲29.6	▲1.0	2.2	▲2.0	7.1	▲1.1	1.8	▲0.0
一般機械	▲27.0	2.9	▲3.6	▲0.7	7.4	11.7	20.2	2.2
電気機器	▲2.1	6.7	8.3	3.6	10.5	9.3	23.5	2.1
半導体等電子部品	0.6	13.4	13.1	7.6	14.2	▲1.5	6.9	▲0.1
I C	8.9	26.2	24.3	15.1	25.3	1.8	4.8	0.1
映像記録・再生機器	36.4	▲36.4	27.3	▲17.1	17.4	58.1	1.3	0.5
音響・映像機器の部分品	▲28.2	▲35.4	▲11.5	▲10.2	▲19.5	19.5	1.1	0.2
電気回路等の機器	▲3.2	6.3	3.7	▲0.2	0.3	0.5	3.9	0.0
輸送用機器	▲39.5	▲30.6	▲24.2	▲19.5	▲11.7	▲13.5	9.8	▲1.6
自動車	▲55.4	▲49.6	▲49.9	▲43.8	▲15.8	▲15.9	4.3	▲0.8
自動車の部分品	▲24.4	▲14.8	▲2.9	▲1.1	▲10.7	▲13.9	5.2	▲0.9
その他	2.1	11.1	20.3	16.5	15.1	10.9	14.9	1.5
科学光学機器	▲6.4	3.5	4.8	0.2	6.8	▲4.9	6.2	▲0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成